

令和 5 年 度

若手教員研修
(2 年 目 研 修)
研修の手引き

福井県教育委員会

勤務校	職名
氏名	

目 次

1	実施要項	1
2	授業実践研究	4
3	各研修の受講について	5
	授業実践研究Ⅱ、学級経営①	5
	授業実践研究Ⅲ	5
	教科別研修Ⅱおよび特別支援教育研修	6
	ボランティア活動	6
	通信型研修	7
4	提出書類等	7
	校外研修の記録・報告書	7
	諸届	8
	レポート	8
	○2年目研修提出書類等一覧	9
	○福井県教員育成指標	

研修についての問合せ先

○福井県教育総合研究所 教職研修センター

〒919-0461 坂井市春江町江留上緑8-1 TEL(0776)58-2160

2年目研修専用 E-mail wakate2@fec.fukui-c.ed.jp

○福井県特別支援教育センター

〒910-0846 福井市四ツ井2-8-1

TEL(0776)53-6574

E-mail tokuse03@pref.fukui.lg.jp

○福井県教育庁嶺南教育事務所

〒917-0241 小浜市遠敷2丁目205

TEL(0770)56-1302

1 実施要項

1 目的

主体的・対話的で深い学びを実践するための指導力の向上を図るとともに、多様なものの見方や考え方を身につける。

2 実施主体

福井県教育委員会

3 実施期間

実施期間は令和5年度の1年間とする。

4 対象者

- (1) 令和4年度に採用された小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の教員で、初任者研修を受講した者とする。ただし、養護教諭および栄養教諭は除く。
- (2) 当該年度に長期の休暇（休業）を取得することがすでに明らかな場合は、原則として休暇（休業）明けに受講すること。なお、受講年度途中で長期の休暇（休業）を取得することになった場合は、受講可能な研修を受講し、残りは休暇（休業）明けに受講することとする。いずれの場合も、休暇（休業）からの復帰時期によっては、翌年度の受講となる。

5 実施計画

【小学校】

コード	育成指標分類	研修名（研修内容）	実施日時・会場		備考
—	—	「令和の日本型学校教育」を担う 教師の学び 研修ガイダンス			
211	学習指導	授業実践研究Ⅱ (授業実践研究の意義と方法)	<嶺北> 5月11日(木) 13:30~16:30 教育総合研究所	<嶺南> 5月11日(木) 13:30~16:30 嶺南教育事務所	p.5 参照
221	生徒指導 マネジメント	学級運営① ※事前視聴 通信型研修 G203 「保護者との関係づくり」			
G111	学習指導	通信型研修「授業力アップを目指す!アクティブラーニング講座～入門編～」を視聴	6月2日(金)までに受講 校外研修の記録・報告書に入力		p.7 参照
254	学習指導	I C Tタブレット活用	6月22日(木) 13:30~16:30 オンライン		別途 通知
213	学習指導	教科別研修Ⅱ	各自選択・申込		p.6 参照
G230	素養	通信型研修 G230「人権教育」	9月22日(金)までに受講 校外研修の記録・報告書に入力		p.7 参照
261a	学習指導 連携・協働	授業実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目の クロスセッション)	下記6日のうち1日選択 10月18日(水) あいばこ立(越前市) 19日(木) 教育総合研究所 25日(水) 嶺南教育事務所 26日(木) 教育総合研究所 11月1日(水) 教育総合研究所 2日(木) 教育総合研究所 いずれも 13:30~16:30		p.5 参照 別途 通知

212	学習指導	授業実践研究Ⅲ (授業実践研究の振り返りと今後の進め方)	下記3日のうち1日選択 1月19日(金) 1月30日(火) 2月7日(水) いずれも13:30~16:30 オンライン ※特別支援学級担当者は原則として1月30日(火)	p.5 参照 別途 通知
291	素養 連携・協働 福井の力	ボランティア活動	各自計画・実施	p.6 参照

【中学校】

コードNo.	育成指標分類	研修名(研修内容)	実施日時・会場	備考
—	—	「令和の日本型学校教育」を担う 教師の学び 研修ガイダンス		
211	学習指導	授業実践研究Ⅱ (授業実践研究の意義と方法)	<嶺北> 5月10日(水) 13:30~16:30 教育総合研究所 <嶺南> 5月11日(木) 13:30~16:30 嶺南教育事務所	p.5 参照
221	生徒指導 マネジメント	学級運営① ※事前視聴 通信型研修 G203 「保護者との関係づくり」		
G111	学習指導	通信型研修「授業力アップを目指す!アクティブ・ラーニング講座~入門編~」を視聴	6月2日(金)までに受講 校外研修の記録・報告書に <input type="checkbox"/>	p.7 参照
254	学習指導	I C Tタブレット活用	6月22日(木) 13:30~16:30 オンライン	別途 通知
214	学習指導	主体的・対話的で深い学びの指導と評価	8月18日(金) 9:30~16:00 オンライン	別途 通知
G230	素養	通信型研修 G230「人権教育」	9月22日(金)までに受講 校外研修の記録・報告書に <input type="checkbox"/>	p.7 参照
261a	学習指導 連携・協働	授業実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目の クロスセッション)	下記6日のうち1日選択 10月18日(水) あいばーく今立(越前市) 19日(木) 教育総合研究所 25日(水) 嶺南教育事務所 26日(木) 教育総合研究所 11月1日(水) 教育総合研究所 2日(木) 教育総合研究所 いずれも13:30~16:30	p.5 参照 別途 通知
212	学習指導	授業実践研究Ⅲ (授業実践研究の振り返りと今後の進め方)	下記3日のうち1日選択 1月19日(金) 1月30日(火) 2月7日(水) いずれも13:30~16:30 オンライン ※特別支援学級担当者は原則として1月30日(火)	p.5 参照 別途 通知
291	素養 連携・協働 福井の力	ボランティア活動	各自計画・実施	p.6 参照

【高等学校】

コード№	育成指標分類	研修名（研修内容）	実施日時・会場	備考
—	—	「令和の日本型学校教育」を担う 教師の学び 研修ガイダンス		
211	学習指導	授業実践研究Ⅱ （授業実践研究の意義と方法）	5月10日(水) 13:30～16:30 教育総合研究所	p.5 参照
221	生徒指導 マネジメント	学級運営① ※事前視聴 通信型研修 G203 「保護者との関係づくり」		
G111	学習指導	通信型研修「授業力アップを目指す!アクティブラーニング講座～入門編～」を視聴	6月2日(金)までに受講 校外研修の記録・報告書に入力	p.7 参照
254	学習指導	I C Tタブレット活用	6月22日(木) 13:30～16:30 オンライン	別途 通知
214	学習指導	主体的・対話的で深い学びの指導と評価	8月18日(金) 9:30～16:00 オンライン	別途 通知
G230	素養	通信型研修 G230「人権教育」	9月22日(金)までに受講 校外研修の記録・報告書に入力	p.7 参照
261a	学習指導 連携・協働	授業実践研究の共有 （初任者・2年目・3年目の クロスセッション）	下記6日のうち1日選択 10月18日(水) <u>あいばく今立(越前市)</u> 19日(木) 教育総合研究所 25日(水) 嶺南教育事務所 26日(木) 教育総合研究所 11月1日(水) 教育総合研究所 2日(木) 教育総合研究所 いずれも 13:30～16:30	p.5 参照 別途 通知
212	学習指導	授業実践研究Ⅲ （授業実践研究の振り返りと 今後の進め方）	下記3日のうち1日選択 1月19日(金) 1月30日(火) 2月7日(水) いずれも 13:30～16:30 オンライン	p.5 参照 別途 通知
291	素養 連携・協働 福井の力	ボランティア活動	各自計画・実施	p.6 参照

【特別支援学校】

コード№	育成指標分類	研修名（研修内容）	実施日時・会場	備考
—	—	「令和の日本型学校教育」を担う 教師の学び 研修ガイダンス		
211	学習指導	授業実践研究Ⅱ （授業実践研究の意義と方法）	5月10日(水) 13:30～16:30 教育総合研究所	p.5 参照
221	生徒指導 マネジメント	学級運営① ※事前視聴 通信型研修 G203 「保護者との関係づくり」		

G111	学習指導	通信型研修「授業力アップを目指す!アクティブ・ラーニング講座～入門編～」を視聴	6月2日(金)までに受講 校外研修の記録・報告書に入力	p.7 参照
254	学習指導	I C Tタブレット活用	6月22日(木) 13:30～16:30 オンライン	別途 通知
282	生徒指導	特別支援教育研修	各自選択・申込	p.6 参照
G230	素養	通信型研修 G230「人権教育」	9月22日(金)までに受講 校外研修の記録・報告書に入力	p.7 参照
261a	学習指導 連携・協働	授業実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目の クロスセッション)	下記3日のうち1日選択 10月26日(木) 特別支援教育センター 11月2日(木) 特別支援教育センター 11月9日(木) 特別支援教育センター いずれも 13:30～16:30	p.5 参照 別途 通知
281	学習指導	授業実践研究Ⅲ (授業実践研究の振り返りと 今後の進め方)	2月7日(水) 13:30～16:30 オンライン	p.5 参照 別途 通知
291	素養 連携・協働 福井の力	ボランティア活動	各自計画・実施	p.6 参照

2 授業実践研究

授業力向上のためには、実践と省察を継続して行う必要がある。そこで、2年目研修では初任時の成果と課題をふまえ、各自が「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れたテーマで授業実践研究に取り組むことを研修の中心とする。

1 授業実践研究の進め方

授業実践を記録することにより、指導の妥当性や課題を検討することができる。それをもとに授業の改善を繰り返すことで、教員の力量は高められていく。こうした年間を通した取組みが、3年目研修の授業実践研究につながり、学び続ける教員の土台となる。

まずは5月の「授業実践研究Ⅱ（授業実践研究の意義と方法）」で、各自が授業実践研究の概要（案）を持ち寄り、グループ協議を経てテーマと研究のねらいを明確にする。その上で、授業実践の概要を完成させる。

各学校での実践では、児童・生徒の発言や行動などの事実、それに対する教員の対応等を記録し、省察を行う。このサイクルを繰り返し、10、11月の「授業実践研究の共有（クロスセッション）」で発表し、グループ協議を通して実践研究や思いを共有することで、幅広い学びを獲得する。この年間を通した取組みの成果と課題を、1、2月の「授業実践研究の共有Ⅲ（授業実践研究の振り返りと今後の進め方）」で共有し、3年目の実践につなげることになる。

2 クロスセッション

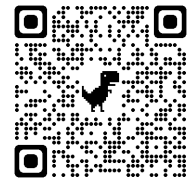
コード No. 261a 授業実践研究の共有は初任者・2年目・3年目の若手教員が校種や教科を同じくする小グループを編成し、実践研究や思いを共有することで、幅広い学びを獲得する。また、経験年数の異なる教員が交流し、自らの経験をもとにした語りと傾聴によりコミュニケーション能力を高めると共に、自律した教育者としての自覚を持ち、一層の成長を図る。

<受講希望日の調査について> 【回答締切】令和5年5月26日（金）

受講希望日（第1希望、第2希望）、その他担当学年等について、次のURLまたは右のQRコードから回答すること。事前に行事予定等を確認し、必ず管理職と相談してから回答すること。

[URL] <https://forms.gle/yMfyJz1bpAg64TCy8>

なお、受講決定日は、教育総合研究所から別途文書で通知する。



3 各研修の受講について

[研修資料のダウンロードについて]

研修資料は、研修日の2日前から教育総合研究所ホームページ「SSO」→「教育情報システム」→「研修資料」よりダウンロードが可能となる。当日は、印刷して持参するか、各自の端末で閲覧できるようにしておく。

1 授業実践研究Ⅱ、学級経営①（コードNo.211、221）

(1) 期日・会場

嶺北小学校勤務者	5月11日（木）	教育総合研究所
嶺南小・中学校勤務者	5月11日（木）	嶺南教育事務所
嶺北中学校、高等学校、特別支援学校勤務者	5月10日（水）	教育総合研究所

(2) 当日の日程

受付 13:00～13:20

研修 13:30～16:30

(3) 当日の準備物

- ・若手教員研修（2年目研修）の手引き
- ・学級運営指導書「通うのが楽しい学級づくり」
- ・レポート「授業実践研究の概要（案）」7部（両面印刷）
- ・名札
- ・「令和4年度 初任者研修 教育実践研究 最終報告レポート集」（特別支援学校勤務者のみ）

(4) その他

事前に通信型研修 G203「保護者との関係づくり」を視聴して受講すること。

2 授業実践研究Ⅲ（小中高コードNo.212、特別支援コードNo.281）

<受講希望日の調査について> 【回答締切】令和5年5月26日（金）

小・中・高等学校勤務者は、受講希望日（第1希望、第2希望）、その他担当学年等について、次のURLまたは右のQRコードから回答すること。事前に行事予定等を確認し、必ず管理職と相談してから回答すること。なお、小・中学校特別支援学級担当者は、原則として、1月30日（火）を選択して回答すること。また、特別支援学校勤務者は、調査の対象としない。

[URL] <https://forms.gle/mvcbMcgeWd5SyvbQ6>



3 教科別研修Ⅱ（コードNo.213）および特別支援教育研修（コードNo.282）

【小学校】

教科別研修Ⅱは、管理職と相談の上、教育総合研究所が主催する下記4講座から1講座を選択し、各自で申し込む。

<講座>

- ・C002 小学校国語科書写研修講座
- ・C401 小学校音楽科研修講座
- ・C431 小学校図画工作科研修講座
- ・C501 小中高家庭科研修講座

<申込方法>

教育総合研究所ホームページ → 「SSO」 → 「研修講座申込システム」より申し込む。

<申込期間> 5月中旬～研修実施1週間前（教育総合研究所ホームページで各自確認）

※各講座には募集定員があるため、定員に達した場合は、空いている講座を選択すること。

【特別支援学校】

特別支援教育研修は、特別支援教育センターが主催する令和5年度研修講座から1講座を選択し、各自で申し込む。

<申込方法>

教育総合研究所ホームページ → 「SSO」 → 「研修講座申込システム」より申し込む。

<申込期間> 4月11日（火）～5月26日（水）

4 ボランティア活動（コードNo.291）

(1) 目的

身近な地域でのボランティア活動を計画・実施することを通して、社会に主体的に参画し、地域との連携・協働のネットワークを形成するとともに、視野を広げ多様な考え方を知り、一般市民としての素養を養う。また、ボランティア活動から学んだことを学校生活の中で活かしていくことで教員としての力量向上を図る。

(2) 実施期間

上記の目的に沿った活動（3時間程度）を計画し、冬期休業終了までに実施すること。

(3) 実施施設・機関・団体（以下「活動先」）の選定について

活動先の選定については、以下のことに留意して行うこととする。

- ・教員の活動先として、体験内容等が目的に照らして適切であること。
- ・活動の目的を理解し、積極的に受け入れていただけること。
- ・受講者の生活地域や勤務校の近隣地域で実施される奉仕活動等への参加が好ましい。

(4) 計画・実施における手順

- ①対象者は、管理職と相談の上、活動先と連絡をとり、趣旨説明と受け入れの打診をする。
- ②学校長は、ボランティア活動の意義をふまえ、ボランティア活動の許可をする。
- ③活動先へ、依頼文書（各学校の様式）を送る。
- ④活動先へ出向いて、挨拶と活動についての確認を行う。
- ⑤確認後、下記の内容をメール本文に記載して、教育総合研究所2年目専用メールアドレス（E-mail wakate2@fec.fukui-c.ed.jp）に送信する。
 - ・研修日時
 - ・研修先
 - ・研修内容
- ⑥ボランティア活動を実施する。
 - ※活動先への礼状は、学校裁量とする。
- ⑦活動後、「ボランティア活動報告書」（様式3）を提出する。

<様式>

教育総合研究所ホームページ「研修の申込・案内」→「基本研修・職務研修」よりダウンロードする。

<記入上の注意>

活動日が複数日にわたる場合は、「活動期日 活動時間」欄に下記のように記入する。

(記入例) 10月9日 (月) 9:00~11:00
10月21日 (土) 10:00~11:30

<提出方法>

教育総合研究所ホームページ「SSO」→「教育情報システム」→「2年目研修レポート」フォルダ内にアップロードする。

ファイル形式: PDF形式

ファイル名: 【勤務校略称_氏名(フルネーム)】2年研_ボランティア

<締切>令和6年1月12日(金)

5 通信型研修(コードNo.G111、G230)

コードNo.	内容(講座タイトル)	配信開始日	受講期限
G111	「授業力アップを目指す!アクティブ・ラーニング講座 ～入門編～」	4月3日(月)	6月2日(金)
G230	「人権教育」	8月下旬	9月22日(金)

教育総合研究所ホームページ「SSO」→「通信型研修システム」より受講し、「校外研修の記録・報告書」に受講日および概要・感想・成果の活用等を入力する。

6 その他

教育総合研究所ホームページにある「研修・会議参加に際しての留意事項」を下記URLもしくは右のQRコードより確認して研修に臨むこと。

[URL] <https://onl.sc/bSMXLV8>



4 提出書類等

1 校外研修の記録・報告書(様式4)

様式は教育総合研究所ホームページ「研修の申込・案内」→「基本研修・職務研修」からダウンロードし、下記の手順で作成する。(作成したものは必ず管理職と共有すること。)

(1)「校外研修の記録・報告書」の作成

毎回の研修終了後に受講日および会場、概要・感想・成果の活用等を入力する。

・通信型研修は、受講後に受講日および、概要・感想・成果の活用等を入力する。

※受講の方法や期限は上記の③5「通信型研修」を参照。

・ボランティア活動は、活動後に活動日および研修先を入力する。

※活動日が複数日にわたる場合は、「研修先・特記事項」欄に下記のように入力する。

(入力例) 10月9日(月) 9:00~11:00

10月21日(土) 10:00~11:30

その他、特記事項がある場合は入力する。

※実施の方法や実施期間は上記の③4「ボランティア活動」を参照。

(2)中間報告

9月末までの研修の記録・報告を印刷したものを10、11月に開催するコードNo.261a「授業実践研究の共有」(初任者、2年目、3年目のクロスセッション)の研修時に持参し、受付で提出する。

(3)最終提出

1年間の研修終了後、下記[提出経路]に従いデータを管理職を通じてメールにて提出する。(締切等はp.9「2年目研修提出書類等一覧」を参照)

※延期願を提出した研修については、該当研修の欄に「次年度に延期」と入力する。

※年度途中で研修を受講できなくなった場合は、その時点での記録・報告書のデータを提出する。ファイル形式: PDF

ファイル名: 【勤務校略称_氏名(フルネーム)】2年目研_記録・報告書

2 諸届

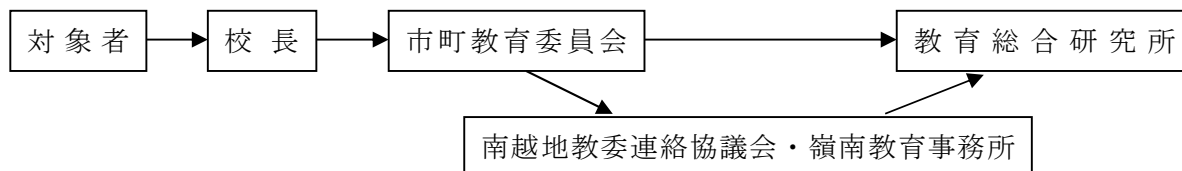
次のものは、事前に管理職を通じて教育総合研究所に問い合わせた上で、必要に応じて校長が作成し、下記[提出経路]に従ってデータをメールにて提出する。様式は、教育総合研究所ホームページ「研修の申込・案内」→「共通様式」よりダウンロードする。提出時のファイル形式はPDFとする。

「欠席届」(共通様式1)・・・年度内に代替研修の受講が可能な場合

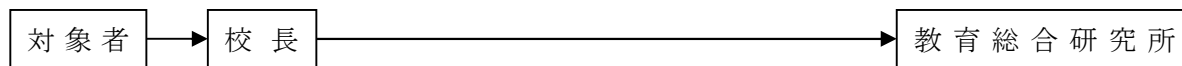
「延期願」(共通様式2)・・・受講が次年度以降になる場合

[提出経路]

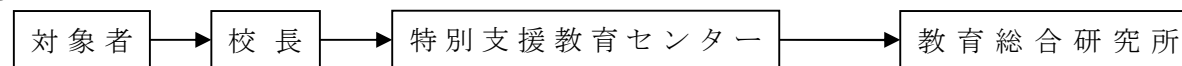
○市町小・中学校



○高等学校、県立中学校、その他



○特別支援学校



※メールアドレスは目次ページ参照

3 レポート (p.9の提出書類等一覧を参照)

<様式>

教育総合研究所ホームページ「研修の申込・案内」→「基本研修・職務研修」よりダウンロードする。

- (1) 「授業実践研究の概要(案)」(様式1) A4判たて、1ページ程度
コードNo.211のグループ協議時に、7部持参する。

※特別支援学校は、上記に加えて、「令和4年度 初任者研修 教育実践研究 最終報告レポート集」(昨年度末にメールで送付済)を持参する。

- (2) 「授業実践研究の概要」(様式1) A4判たて、1ページ程度

コードNo.211の研修で得たことを踏まえて作成し、5月26日(金)までに下記のとおり提出する。

(提出方法)

教育総合研究所ホームページ「SSO」→「教育情報システム」→「2年目研修レポート」フォルダ内にアップロードする。

ファイル形式：PDF

ファイル名：【勤務校略称_氏名(フルネーム)】概要

- (3) 「授業実践研究の中間まとめ」(様式2) A4判たて、3ページ程度

10月4日(水)までに(2)と同様の提出方法で提出する。

ファイル形式：PDF

ファイル名：【勤務校略称_氏名(フルネーム)】中間まとめ

コードNo.261a「授業実践研究の共有」(初任者、2年目、3年目のクロスセッション)の際に7部持参する。

(4)「授業実践研究のまとめ」(様式2) A4判たて、5ページ程度

コードNo.261a「授業実践研究の共有」におけるグループ協議での学びや11～1月の実践等を追記して作成する。コードNo.212 授業実践研究Ⅲ(特別支援学校はコードNo.281)の際に、オンライン上で画面共有する。受講後、一週間以内に(2)と同様の提出方法で提出する。

ファイル形式:PDF

ファイル名:【勤務校略称_氏名(フルネーム)】まとめ

○2年目研修提出書類等一覧

※それぞれの提出先を確認の上、管理職を通じて提出。(メールアドレスは目次ページ参照)
レポート、ボランティア活動報告書は市町教委を経由せず教育総合研究所に直接提出。

提出書類等		設置区分 校 種		市町小中学校		県立・その他		
				中学校・ 高等学校	特別支援学校			
各 書 類	・欠席届(共通様式1) ・延期願(共通様式2)	提出先	市町教育委員会		研究所	特支センター		
		提出方法	メールにて送付(PDF)					
		締切	発生都度					
	・校外研修の記録・報告書 中間報告(様式4)	提出方法	9月末までの研修記録・報告を入力、印刷したものを持参					
		報告日	10・11月授業実践研究の共有(クロスセッション)受講日					
		備考	※詳細はp.7参照					
	・校外研修の記録・報告書 (様式4)	提出先	市町教育委員会		研究所	特支センター		
		提出方法	メールにて送付(PDF)					
		締切・備考	3/1(金)		3/8(金)	3/1(金)		
レ ポ ー ト ・ 報 告 書 等	・授業実践研究の概要(案) (様式1)	締切	5/10(水)・11(木)の研修の際、7部持参					
		備考	特別支援学校は、「令和4年度 初任者研修 教育実践研究 最終報告 レポート集」も持参 *詳細はp.8参照					
	・授業実践研究の概要 (様式1)	提出方法	教育情報システム「2年目研修レポート」フォルダ内にアップロード(PDF)					
		締切	5/26(金)					
		備考	※詳細はp.8参照					
	・授業実践研究の共有(クロス セッション)希望日、 授業実践研究Ⅲ希望日	提出方法	Google フォーム					
		締切	5/26(金)					
		備考	※詳細はp.5参照					
	・授業実践研究の中間まとめ (様式2)	提出方法	教育情報システム「2年目研修レポート」フォルダ内にアップロード(PDF)					
		締切	10/4(水)					
		備考	※10、11月のクロスセッションでは、7部持参 ※詳細はp.8参照					
	・授業実践研究のまとめ (様式2)	提出方法	教育情報システム「2年目研修レポート」フォルダ内にアップロード(PDF)					
締切		コードNo.212(特別支援学校はコードNo281)受講後、一週間以内						
備考		※詳細はp.9参照						
・ボランティア活動報告書 (様式3)	提出方法	教育情報システム「2年目研修レポート」フォルダ内にアップロード(PDF)						
	締切	実施後1週間以内						
	備考	※詳細はp.6参照						
その他	・異動の場合 (2年目→3年目)	連絡先	異動の公表後、管理職から直ちに(3月中)研究所2年目研修担当へ電話で連絡					

福井県教員育成指標

自らの個性を發揮し、人生を切り拓くために
挑戦し続ける人

福井の教育が目指す育てたい人間像

多様な人々の存在を認め、
協働して新たな価値を生み出す人

ふるさとや自然を愛し、
いっどこにいても社会や地域に貢献する人

福井が求める教師像

校種・教科等に関する
専門的知識・実践的技能
を持った人

専門分野に偏らない幅広い教養を身につけ、
自立した社会人としての良識や
幅広い視野を持った人

子どもたちともより、同僚や家庭、
地域社会と円滑な人間関係を築き、
課題に対して臨機応変に対応できる人

教育に対する情熱・使命感に
燃え、常に学び続ける
向上心を持った人

資質・能力	ステージ		第1ステージ			第2ステージ			第3ステージ			ステージ	
	福井県が求める採用時の姿	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	管理職	トップリーダーとして教育活動を推進する							
素養	教育的愛情使命感責任感	子どもに対する愛情・教職への情熱	子どもの個性を尊重し、夢と希望、豊かな人間性を育む熱意 ・教職に対する使命感、誇り、責任感	学校教育を牽引する使命感、責任感	組織的な運営を行う使命感、責任感 ・学校経営に積極的に参画する責任感	教育的愛情使命感責任感	将来を担う子どもの成長に資する使命感や責任感の深い自覚 ・よりよい学校教育の実現に向けた努力						
	倫理観人間性社会性	高い人権意識 ・豊かな人間性、広い視野 ・社会人としての一般常識	確かな人権感覚、子どもの模範となる倫理観 ・人間的な魅力の涵養、信頼関係の構築(子ども、教職員、家庭、地域社会 など) ・謙虚な姿勢、法令の遵守、服務の誠実かつ公正な遂行 ・市民としての役割の遂行と積極的な社会参画				倫理観人間性社会性	豊かな人間性、広い視野、高い人権意識の醸成 ・子どもや教職員の示範となる言動 ・子ども、家庭、地域社会などとの信頼関係の構築					
	コミュニケーション力	他者との意思の疎通と協働	同僚性の構築、よりよい教育の実現に向けた教職員間の意思の疎通と共通理解、合意形成の推進				素養	判断力 ・明確な教育理念と省察による自己の職能の成長 ◎正確で迅速な情報収集、整理、分析、共有(アセスメント) ・的確な判断を行う力 ・教育情報や国の動向、時代の流れの的確な把握					
学習指導	学び続ける力探究心	学びの専門家としての学び続ける意欲 ・多様な社会体験への挑戦	自ら学び続ける基盤の構築(課題の発見・解決の努力・省察する力) ・自主的な協働研究への積極的な参画	専門性の深化とキャリアアップ ・学校内外や専門分野における研究の牽引 ・若手教員の指導への積極的な関わり	自らの実践の深化と改善 ・学校内外や専門分野の組織的な研究の運営 ・教職員の資質・能力を高める指導、助言	学習指導	創造的に思考する力 ・幅広い教養と高い専門性、幅広い視点で、新たなものを創造する力 ・教職員との日常的な意見交換や情報共有をもとにしたよりよい民主的な職場環境の構築 ◎教職員同士および学校と家庭、地域、関係機関の相互作用による教育力の最大化(ファシリテーション)						
	教科等の専門性	教科等を学ぶ意義の理解 教科等で培う力の把握	教科等において、多面的・多角的な視点での研究の推進と専門性の向上 ・カリキュラムマネジメントの視点での研究の推進 ・福井の未来の担い手となるために、教科等において、人間性を育む教育を推進 ・幼・小・中・高を通した学びの接続の視点での研究の推進 ・子どもの主体的な学び、確かな学力、生きる力の追究				共通	業務改善 (働き方改革に向けて)					
	授業力	教科等の基礎的な授業力 ・主体的・対話的で深い学びへの理解 ・探究的な学びの計画、立案	教科等の特性や本質の理解 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた楽しくわかる授業 ・多様な授業形態を取り入れた個別最適な学びや協働的な学びへの工夫 ・主体的・対話的で深い学びへの工夫 ・指導と評価の一体化に基づく実践 ・子どもの学びの見取りの意義と実践 ・校内研究への主体的な取組み、積極的な授業公開の実施	省察をもとにした授業改善 ・教科等の特性や本質の追究 ・主体的・対話的で深い学びの実現 ・多様な授業形態を工夫した個別最適な学びや協働的な学びの実現 ・教科等横断的なカリキュラムデザイン ・校内研究の中核として授業実践を牽引 ・若手教員への授業力を高める指導、助言	広い視野での授業改善 ・教科等の特性や本質を理解した実践 ・主体的・対話的で深い学びの深化 ・多様な授業形態を工夫した個別最適な学びや協働的な学びの深化 ・資質・能力を培う授業の提案 ・学校全体の授業力向上に係る企画 ・学校内外の中心として示範となる授業実践の推進 ・校内研究の中心として組織を運営 ・学校内外の教職員への指導、助言			業務改善 (働き方改革に向けて)	業務改善 (働き方改革に向けて)				
福井の教育力を支える研究・連携	福井の教育の特長の理解 「ふるさと福井」を大切に思う心	子ども自身がその個性に気づき伸ばしていけるような「引き出す教育」、学びを自ら進んで「楽しむ教育」を進めるための授業の実践的研究、協働による研究体制、同僚性の構築 ・縦横教科研担任制の運営、教科の学びの系統性の構築 ・幼・小・中・高の接続の視点を持った教育の推進 ・研修や自主研究会への主体的な参画 ・教員間の世代間交流による優れた教育力の継承			共通	業務改善 (働き方改革に向けて)							
ICTや情報・教育データの利活用	ICT活用の理解 ・ICT活用の技能	授業でのICTや情報・教育データの積極的な活用 ・生徒指導、校務など学校全体でのICTの積極的な活用 ・子どもの情報活用能力を育成する授業の工夫				共通	業務改善 (働き方改革に向けて)						
特別な配慮を要する幼児・児童・生徒への対応	子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育の基本的な知識	子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育の理解、実践 ・合理的配慮に対する理解、実践	子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育の中核として実践を牽引 ・子どもの個性、特性に応じたキャリア教育の推進				共通	業務改善 (働き方改革に向けて)					
幼児・児童・生徒理解	子どもたちの多様性を踏まえた、一人一人の子どもの理解の重要性の認識 ・子どもの発達段階への理解 ・一人一人に向き合う意識	子どもの個性、特性の理解 ・インクルーシブ教育の視点を踏まえた、認め合い高め合う学級経営の実践	学級および学年全体の子どもの理解 ・学年の生徒指導の中核として、子どもの個性、特性に応じた諸課題への対応	組織的な学年経営と学校全体の子どもの理解 ・子どもの個性、特性に応じた組織的な生徒指導の企画、運営	共通			業務改善 (働き方改革に向けて)					
幼児・児童・生徒に応じた支援課題への対応や支援	子どもたちの多様性を踏まえた、個や集団への支援や指導についての理解 ・一人一人の子どもに寄り添う態度、子どもの声に対する傾聴 ・多様な子どもに対する寛容の心と態度	子どもの個性や特性、課題に応じた支援や指導 ・子どもの特性を理解した原因分析力 ・学校の生徒指導の方針に対する理解 ・報告・連絡・相談を通したチームでの生徒指導の実践 ・家庭などとの信頼関係の構築、連携・協働	チームの中核として子どもへの適切な支援や指導 ・子どもの個性、特性に応じた生徒指導方針をチームの中核として集団を牽引 ・若手教員に対する適切な指導、支援 ・家庭、地域社会などとの信頼関係の構築、連携・協働	チームの責任者として教職員に対する指導、助言 ・子どもの個性、特性に応じた組織的な生徒指導方針の立案 ・チームの責任者として役割と責任を明確にした組織的な対応の企画・調整 ・確かな情報の共有と適切な管理 ・家庭や地域、関係機関との連携・協働		共通		業務改善 (働き方改革に向けて)					
業務改善(働き方改革に向けて)	効率的な時間管理に対する意識	自己の勤務時間の管理 ・PDCAサイクルを意識した、効率的、効果的な業務遂行の工夫 ・業務効率化のための積極的なICT等の活用と推進	チームの中核として、効率的、効果的な業務遂行の工夫 ・校務分掌や学年活動における会議や行事等の精査と精選の提案と実践	チームの責任者として、若手や中堅教員に対する働き方への示唆と助言 ・学校教育活動全体の精査と精選の具体的な提案と組織的な実践			共通	業務改善 (働き方改革に向けて)					
学級経営 学年経営 学校経営	理想とする学級像の形成	一人一人の子どもが活躍し、互いを認め合い安心してすごせる学級経営 ・スクールプランの達成に向けた教職員の協働的な実践 ・報告・連絡・相談による教職員間の協働	学年のリーダーとして率先して協働的な活動を牽引 ・スクールプランの達成に向けて、中核として学校を牽引 ・カリキュラムマネジメントを意識した協働的な活動の牽引 ・若手教員を抱える課題の理解・支援	学級間、学年間の連携を意識した学校経営への参画 ・スクールプランの達成に向けて学年や分掌の責任者としての組織的な運営 ・カリキュラムマネジメントの視点での組織的な運営 ・協働するネットワークの構築と指導、助言	共通			業務改善 (働き方改革に向けて)					
社会の変化への対応	学校現場の現状の理解 ・社会情勢(国際感覚・多様性)に対する理解	学校の実態、Society5.0等の社会情勢の変化、教育改革の動向に対する理解	学校の実態、Society5.0等の社会情勢の変化、教育改革の動向に対する具体的な方策の提案と実践			共通		業務改善 (働き方改革に向けて)					
学校安全 危機管理	学校安全、危機管理に関する基礎的な知識、理解	学級や集団の適切な安全管理 ・勤務校の危機管理体制に対する理解	チームの中核としての学校安全、危機管理上の課題への対処 ・適切な安全管理、結果を予測した危機管理の徹底	チームの責任者としての学校安全、危機管理のマネジメント ・学校の事件、事故の対処と未然防止に対する教職員への指導、助言			共通	業務改善 (働き方改革に向けて)					
人材育成	様々な課題に対応する力	学校内外の研修や自主研究への参画	若手教員に対する指導、助言	校内研修、自主研究の企画、運営	共通			業務改善 (働き方改革に向けて)					
連携・協働	組織における協働	仲間と協働して、創造する経験 ・協働の良さを子どもに発信する力	教職員間の同僚性の構築 ・チームで対応することへの理解と実践	ミドルリーダーとしての自覚と積極的な行動 ・チームの中核として教員集団を牽引してチームで対応する力を向上		チームの責任者として同僚性が発揮できる職場環境の構築		共通	業務改善 (働き方改革に向けて)				
	家庭や地域社会との連携	地域社会に貢献する経験 ・地域社会の中で子どもを育成する意義の理解	家庭、地域社会、関係機関との連携・協働のネットワークの形成 ・家庭、地域社会への積極的な情報発信と良好なコミュニケーションの構築				共通		業務改善 (働き方改革に向けて)				
福井の力	「ふるさと福井」の教育	「ふるさと福井」の理解 ・福井の教育をよりよくしていく心と態度	福井の教育の充実に向けて、「ふるさと福井」を学び続ける態度と自己啓発力(「ふくい愛」)の向上 ・「ふるさと福井」独自の教材づくりと活用した授業の実践(「ふるさと福井の先人 100人」「古典音読・暗唱ノート」「郷土新聞」「NIE」など)			共通		業務改善 (働き方改革に向けて)					

※なお、養護教諭については、保健管理、保健教育、健康相談、保健室経営、保健組織活動の項目、栄養教諭については、食に関する指導、学校給食の管理の項目も含める。

◎は特に校長に預けること